

仕 様 書

- 1 件 名 柏井2丁目ゲートボール場撤去修繕
- 2 施行場所 市川市柏井町2丁目1309番地1
- 3 施工時間 午前9時から午後5時まで
- 4 施工期間 契約日の翌日から令和2年3月19日まで
- 5 担当部署 福祉部地域支えあい課
- 6 修繕内容 ゲートボール場を更地にするもの

名 称	規 格	数 量	単 位
切竹処理		1	式
草刈		500	m ²
高木伐採	C = 30~59 cm	4	本
高木伐採	C = 60~89 cm	6	本
高木伐根 (機械併用)	C = 30~59 cm	3	本
高木伐根 (機械併用)	C = 60~89 cm	4	本
鉄板養生費		1	式
掘削	小型バックホウ 0.13 m ³ t = 100	500	m ²
発生土積込		60	m ³
発生土処理		60	m ³
土の入れ替え	赤土	65	m ³
運搬敷きならし		85	m ³
整地		500	m ²
天地返し	ゲートボール場全面	1	式
土留め板設置	側溝ふた沿い 全長約 29m	1	式
諸経費		1	式

※関係法令に則った経費(マニフェスト作成や提出等)の経費を入札額に含めること。

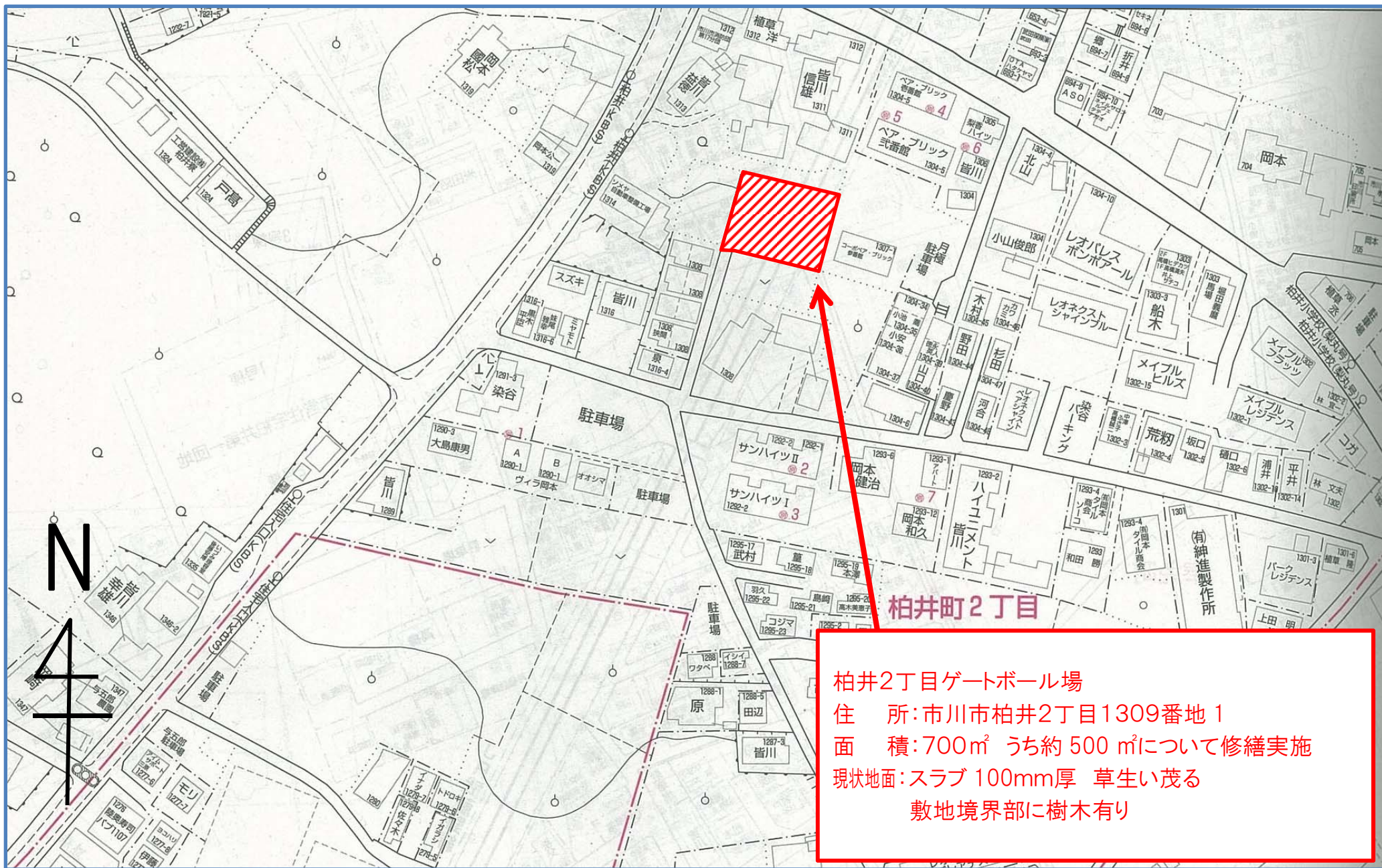
7 提出書類

- (1) 着手届 1部
- (2) 業務責任者届及び経歴書 1部
- (3) 施工計画書 1部
- (4) 工程表 1部
- (5) 使用材料届
- (6) 産業廃棄物管理票(マニフェスト) 1部
- (7) 施工前及び施行後写真 各1部
- (8) 完了届 1部
- (9) その他必要報告書 各1部

8 施工上の留意事項

- (1) 本修繕の施行については、事前に施工計画書及び工程表を提出し、監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 受注者は、施工開始(着手)及び完了は文書により、速やかに届け出なければならない。
- (3) 受注者は、施工前及び施工後の状況を撮影して、写真にて報告するものとする。
- (4) 受注者は、施工現場において発生した物件を取りまとめて保管し、その処理については監督職員の指示を受けなければならない。
- (5) 受注者は、常に安全対策に留意し「労働安全衛生規則」等に定める現場管理を行うとともに、その他の関係法令に対しても十分留意し、事故の未然防止に努めなければならない。
- (6) 受注者は、施工現場が危険なため立ち入りを禁止する必要がある場合はあらかじめ監督職員の承諾を受けて、その区域を適切に防護するとともに立ち入り禁止標示の処理を講じなければならない。
- (7) 受注者は、本修繕にあたり、隣接住宅等に損傷・汚れ等が生じた場合は監督職員に速やかに報告し、受注者の負担により原形に復旧しなければならない。
- (8) 前各号に定める場合のほか、施工中は必要に応じて監督職員が指示する現場管理を行わなければならない。
- (9) 受注者は、本修繕にあたり、関係官公署、その他関係機関への必要な届出・手続き等がある場合は遅延なく行うこと。
- (10) 受注者は、本修繕により発生した廃棄物について、受注者の責任において適正に処分すること。
- (11) その他、ここに定めのない事項については発注者と受注者の協議によって決定するものとする。
- (12) 受注者は工事着工前の地権者・担当課との打ち合わせに同席すること。

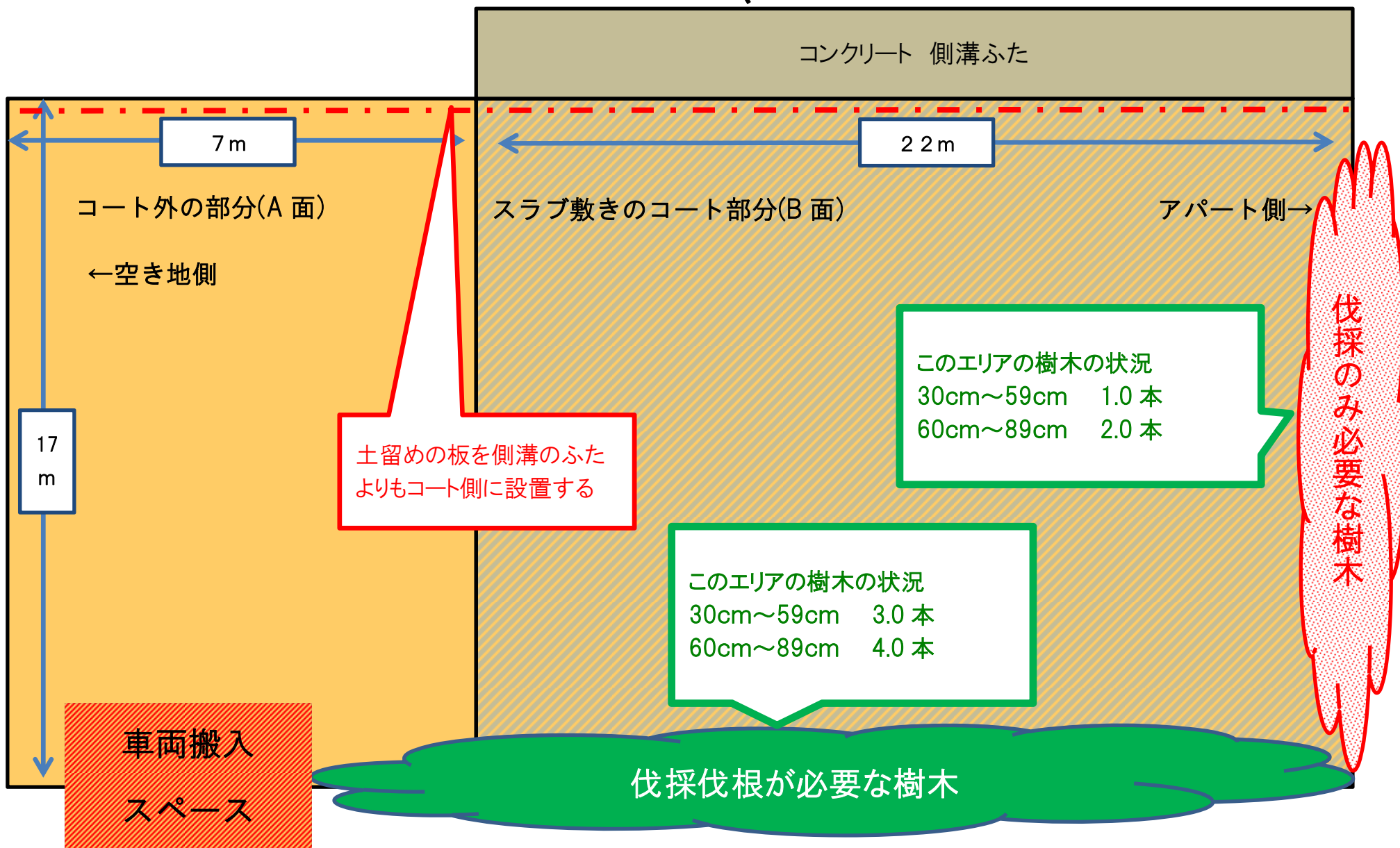
【柏井2丁目ゲートボール場 周辺図面】



【柏井2丁目ゲートボール場 拡大図面】 図面の方位

N

借用面積700㎡のうち、下図のとおり約500㎡について修繕する。



N

【柏井2丁目ゲートボール場撤去修繕 仕様詳細】

今回修繕を実施する範囲は、借用面積 700 m²のうち、既存の側溝ふたのコート側のライン延長線よりも内側のエリアとする。側溝よりも外側に背丈ほどの藪があるが、そちらは残置で構わない。また便宜上、コート外の部分を A 面、スラブ敷きのコート部分を B 面と呼ぶことにする。

- ①ゲートボール場敷地全面(A 面・B 面)の土を表面から 100mm厚漉き取ること。
(100mm厚は B 面コート部分のスラブの厚みと同じ)
- ②漉き取った土は、関係法令に則り、土と雑草等を適切に分別して処分すること。
処理に必要なマニフェスト等も作成・提出すること。
- ③図面を参考に樹木を伐採・伐根すること。エリアにより伐採・伐根の処理が異なるので注意すること。
- ④既存土の漉き取りおよび伐採伐根等の処理を終えた後、赤土を入れ、レベル調整すること。
※レベル調整の高さは、【柏井2丁目ゲートボール場 拡大図面】内に図示している「コンクリート 側溝ふた」の高さと同じとすること。
- ⑤作業工程上支障ない期間に、敷地全面(A 面・B 面)の天地返しを実施すること。
深さは 400mm~500mm とする。
- ⑥作業工程上支障ない期間に、側溝ふたの内側のラインに沿って土留めの板を設置すること。
【柏井2丁目ゲートボール場 拡大図面】を参照。
土留めで使用する板の寸法は、1枚あたり幅 300mm 程度、厚さ 15mm 程度、長さ 1000mm 程度とし、適宜ジョイントして必要箇所の全長をカバーすること。
参考商品として、大研化成工業 社製の樹脂板平板(H-1000)を挙げる。この商品と同等の商品であれば、他社製品でも構わない。 ※腐食防止の観点から樹脂製としている。
- ⑦赤土を入れ、レベル調整をした後、整地を行うこと。
ただしこの整地は、強く地面を固める必要はない。調整するレベル高さを維持しつつ、すぐに畑として、耕すことができる程度の硬さに整地されることが望ましい。
- ⑧【柏井2丁目ゲートボール場 拡大図面】内の左下部分が工事車両の搬入口となる。
傾斜角が大きいため、土等で勾配を緩和した状態で完成後の引渡しができるようにすること。

【全体に関する事項】

- ア：技術面または現場状況によるやむ無き理由により、仕様書で指定した工法での作業が困難な場合には、担当課と協議すること。
- イ：現場での作業または回収廃棄する際に、必要となる関係法令に則った書類作成、提出および手続きは遅滞なく行うこととし、その費用は入札額に含めるものとする。
- ウ：作業現場ならびに周辺への安全確保のために必要な経費についても適切に入札額に含めること。